

## Ⅱ 事業概要

### 1. 学術振興事業

#### (1) セミナー「現代科学・技術の最前線」

昭和 57 年より、賛助員の皆様に最新の知識と情報を提供すべく、例年、広い分野の中から関心の高いテーマを選んで標記セミナーを開催。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため中止とした。

#### (2) 国内学会出張費援助

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う大学研究機関における研究活動の制限、自粛の影響を受け、応募がなかった。

#### (3) 図書購入費援助

令和 2 年度慶應義塾大学理工学メディアセンター図書購入費として、150,000 円の援助を行った。

#### (4) 研究会合費援助

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う大学研究機関における研究活動の制限、自粛の影響を受け、応募がなかった。

### 2. 国際交流事業

#### (1) 国外学会出張費援助

#### (2) 国際交流推進援助費

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、大学研究活動の自粛、さらに渡航困難な状況のうえ、国際学会等も開催が減少傾向であったため、応募がなかった。

### 3. 育英奨学事業

#### (1) 慶応工学会賞

令和 2 年度慶應義塾大学卒業式に際し、成績優秀者 7 名に賞状および記念品を授与。

#### (2) 給費奨学金

令和 2 年度給費奨学金を慶應義塾大学大学院理工学研究科前期博士課程、政策メディア研究科後期博士課程および薬学研究科前期博士課程の学生 8 名に 2,880,000 円支給。

#### (3) 育英奨学金

令和 2 年度育英奨学金を慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程の学生 3 名に 2,100,000 円支給。

#### 4. 研究推進事業

- (1) 令和2年度の委託研究契約は、26件で、105,704,300円であった。  
(契約額の増額および期間延長を含む)
- (2) 令和2年度の共同研究契約は、3件で、8,282,000円であった。  
(契約額の増額および期間延長を含む)
- (3) 令和2年度使用研究者指定研究資金としては、14件で、10,190,000円であった。

#### 5. 学術普及事業

毎年、開催にかかわる事務を受託している「経済性工学セミナー」は、令和3年3月5、6日開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、本年度は中止とした。

#### 6. その他

「企業セミナー」について

一昨年度から、賛助員企業各社と慶應義塾大学理工学部との橋渡しを目的として賛助員企業様による「企業セミナー」を実施している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のリスク回避をしつつ、慶應義塾大学理工学部学生課キャリア支援と連携し、学生課キャリア支援主導のもとオンラインにて以下のとおり実施した。

<1日目> 2020年12月9日(水) 13:30-17:00

◇参加企業(敬称略)

トヨタ自動車株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、ENEOS株式会社、株式会社関電工  
参加学生：42名(事前申込65名)

<2日目> 2020年12月16日(水) 13:30-17:30 ※AレーンとBレーンに分けて開催

◇参加企業(敬称略)

(Aレーン) 富士通株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、佐藤製薬株式会社、株式会社東芝、  
株式会社KTグループ

(Bレーン) 株式会社日立製作所、富士ゼロックス株式会社、三菱地所株式会社、  
株式会社石井鐵工所、株式会社三井住友銀行

参加学生：(Aレーン) 16名、(Bレーン) 30名(2日目全体の事前申込110名)